



一般質問



高柳 良夫 (台東区議会自由民主党)

町会活動について

問 台東区では町会が区政に積極的に協力し、区の諸事業が順調に遂行されている特色があるが、区の伸展に重要な役割を果たしている町会活動を、どのように評価しているのか。今後、具体的に町会に何を求め、どのような支援をしていくのか。

答 区と地域の活動を担っている町会が積極的に協働していくことは、大変重要なことであると考えます。現在、地域での防犯・防災活動や各種統計調査等の実施にあたり、大きな役割を担うなど多大な貢献をいただいています。今後も、幅広い分野でのご支援、ご協力をお願いしたいと考えます。町会に対しては、地域での活動がしやすくなるよう、要望等をお聞きしながら、支援方法を検討していきます。

教育問題について

問 区独自講師の派遣について、①平成20年度は採用のためにどのよ

うな予算措置をするのか。②採用に当たり、優秀な人材をどのように確保するのか。採用した人材が期待に応えられない場合はどうするのか。また、職員の責任分担等についてはどのように考えるのか。③千束小学校のような課外指導を実践している例はあるのか。また、その実践を広報してはどうか。④週6日制の復活について、国や東京都に対し、要望書を提出しているが、平成20年度は、土曜日をどのように活用していくのか。

答 ①名称を学力向上推進ティーチャーとし、各小学校に1名ずつ、中学校には各学校が必要とする教科の人数を配置し、講師を一年間配置するために必要な予算を計上します。②書類選考と面接選考を行なった後、配置校の学校長による面接選考も行なうなど、優秀な人材の確保に万全を期していきます。また、採用当初の指導に加え、日常的に学校長が指導をします。学力向上推進ティーチャーは、授業中の個別指導、放課後や長期休業中の補習など、児童・生徒の学力向上を主たる目的としています。③東浅草小学校の「放課後スクール」や柏葉中学校の「柏葉ゼミナール」は、放課後の補習授業を毎日実施しています。その他のすべての学校でも、放課後の補習等を実施しています。各学校の取り組みについては、区民に広くお知らせし、区立学校の良さや信頼を高めます。④関係機関との調整等に取り組み、平成20年度中に、まずは中学校から土曜授業の第一歩を踏み出していきたいと考えます。



君塚 裕史 (台東区議会区民クラブ)

庁舎のユニバーサルデザインと防災対策等について

問 ①庁舎の西側出入口の一部に段差がある。改善すべきではないか。②アートギャラリーの展示方法の見直しが必要ではないか。③庁舎1階の正面玄関付近が乱雑に見える。対応が必要ではないか。④コールセンターと総合案内を一体化させるなど、事務スペースを効率的に活用すべきではないか。⑤庁舎内に適切な案内表示が必要ではないか。⑥庁舎の裏側に計測震度計が設置してあるが、精度を確保できるのか。⑦庁舎2階の保護課ロビーから1階北側にかけて使用されていない階段があり、防犯上問題がある。改善すべきではないか。⑧後期高齢者医療制度担当部署の設置場所について伺う。

答 ①ユニバーサルデザインの理念に則り、改善していきます。②東京藝術大学とも協議の上、工夫していき

ます。③美観に重点を置き、庁舎の顔としての整備に努めます。④効率的なスペース活用に努めます。⑤とりわけ多くの方々が訪れる窓口や施設の表示を、よりわかりやすいものにしていきます。⑥気象庁等が定める要件に基づき設置したものであり、問題のない設置環境とのことです。さらに正確な計測ができるものとなるよう、気象庁等とも協議していきます。⑦防犯体制強化のため、必要な措置を講じます。⑧事務スペースの一層の有効活用を図り、庁舎2階の国民健康保険課内に設置します。

新改良道路掘削工事について

問 新改良道路の掘削により、統一的に整備された歩道が一部分アスファルト舗装になるなど、商店街・街並みが台無しになってしまう。復旧までの期間や復旧の状況について指導強化が必要ではないか。

答 業者への指導を強めるとともに、巡回を密にして復元に努めます。

問 掘削の繰り返しや整備後すぐ掘り返すことが見受けられるが、街づくりの観点から抑制が必要ではないか。

答 掘削工事の回数を減らすような新しい技術の開発が想定されますので、情報収集に努め研究します。



池田 清江 (台東区議会公明党)

成年後見制度について

問 ①成年後見制度推進機関の取り組み状況と、制度の周知方法について伺う。②制度を容易に利用できる「総合相談窓口」を設置してはどうか。③申立てに要する経費等の助成制度を充実してはどうか。

答 ①制度を円滑に推進するため、後見人のサポートを行っています。また、無料相談会や講演会を通じ、普及啓発を図ります。②権利擁護センターがその機能を担っています。③利用状況を見ながら適切に対応します。

教育問題

問 ①全国学力テストの結果について⑦結果を踏まえ、どのような対策を図るのか。①本区で成績分布の二極化傾向があるのか。②本区の児童・生徒の学習意欲の実態はどうか、課題及び対策はどうか。③秋田県の少人数指導等は、本区の学習指導の参考になると考えるがどうか。④早期に学校週6日制を復活させるべきではないか。土曜授業復活の意見書を国に提出したが、その後の動向はどうか。⑤公立学校における進学

塾の「夜間授業」については賛否両論あるが、学力の定着は、日常の授業や教育活動の中で実現すべきではないか。④幼児教育のあり方について⑦幼児教育検討会では、どのような視点で、何を検討しているのか。①家庭、地域社会、幼稚園・保育園の三者の連携はどうか。②どのような問題意識を持ち、小学校と円滑な接続を進めるのか。③幼稚園教諭や保育士の資質や専門性向上の取組みはどうか。④開設予定の認定こども園の運営をどのようにしていくのか。⑤幼児教育支援センターの設置を検討すべきではないか。⑥「家庭教育支援チーム」はどう考えるか。

答 ①⑦問題解決的な学習を充実します。①顕著な傾向は見られません。②相対的に意欲をもって取り組んでいます。指導の一層の充実を図ります③先進例を参考にしながら、指導標準の策定を目指します。②中央教育審議会答申には、土曜授業復活という文言はみられませんが、平成20年度中に、中学校から土曜授業に踏み出したいと考えます。③全ての子供に基礎学力を確実に定着させることが公教育の使命と考えます。④⑦就学前幼児に対する教育のあり方などについて検討しています。①今後も一層の連携に努めます。②教員の交流等を通じ、小学校入学を見据えた教育のあり方を推進します。③保育実践や教育相談等の研修を実施します。④幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいた質の高い保育を提供し、子育て支援機能を充実します。⑤きょういく館が調査研究、支援を行います。⑥都において「地域における家庭教育支援基盤形成事業」の協議会を設置する方向です。



秋間 洋 (日本共産党台東区議会議員団)

後期高齢者医療制度について

問 ①政府は4月からの制度実施をやめようとしませんが、区長は高齢者から医療を奪う国をどう思うか。②⑦保険料等が決まった今、あらためて周知を行うべきではないか。①都に、さらに財源を確保し、負担増

になる高齢者を1人も出さないようにと迫るべきではないか。③区内の医療機関が高齢者への医療の制限・差別を行わないですむように、医療機関と最大限の努力を行うべきではないか。④慢性期医療の治療中の場合に、健康診査の対象からはずすという国の動きがあるが、台東区では健康診査を例外なく行うべきではないか。

答 ①本制度は、国民皆保険制度の維持と、医療費の適正化等を目的とする「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、実施するものと認識しています。②⑦広報紙やCATV等を活用したPRを行うとともに、町会連合会等への説明会などを積極的に実施します。①区長会を通じて都に財政支援を求めたいと思います。③包括払い等を含む診療報酬体系の見直しについては、中央社